

教科		美術		科目	ビジュアルデザイン	単位数	3 単位
学年	2年	科	美術造形デザイン科		専攻・コース		
教科書		光村図書 美術 1			副教材		
学習到達目標		<p>○デザイン的な創造活動の基本となる諸要素の理解を深める。</p> <p>○生活の中で生かされるデザインに関心を持ち、多彩な表現を通して色や形に意味をもたせ、魅力的な視覚伝達へと展開していくことが出来る。</p> <p>○形態と色彩、材料を関連付け、多角的な発想力をつける。</p>					
評価の観点		<p>○課題の中に自分のテーマを持ち、興味・関心・課題意識に基づいて探求的に制作活動を行う</p> <p>○制作完了後は全員で発表・討議を行い講習会をおこない、自分の制作を振り返るとともに、他者の課題 意識や表現技法について知る。</p>					
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標			備考	
前	4	連続文様のデザイン	<p>○一つのパターンを連続して配置することで新たに生まれる文様のリズムを理解し、デザインする。</p> <p>○パターンデザインはウィリアムモリスから始まり、現代ではマリメッコなどテキスタイルを中心にデザインの手法として多様に応用されていることを知る。</p> <p>○描写する、端的に描くなど表現の幅を広げる。</p>			<p>資料収集 エスキース 作品全体講評 作品提出 B1 サイズ</p>	
	5		<p>○地と図の関係性を理解し、空間全体を関連つけて計画する。</p> <p>・モチーフをデザイン化し、連続させてパターン化するという2段階の仕事が必要になる。モチーフの持っているイメージを理解し、色と形で表すことができたか。</p>				
	6	現代の写楽	<p>○東洲斎写楽について調べる。</p> <p>○江戸時代のグラフィックともいえる浮世絵について理解を深める。</p> <p>浮世絵や日本画が現在のグラフィックの始まりであったことをしり、「らしさ」を伝えるイラストレーションの根本には事実を熟知し、観察から得た情報を整理する力と描写の力が欠かせないことを理解する。</p>			<p>資料収集 エスキース 作品全体講評 作品提出 B1 サイズ</p>	
期	7		<p>○写楽の得意とした大首絵の様式を取り入れ、現代の話題になっていること、話題の人、人物を自分の捉え方でダイナミックにデフォルメして表す</p> <p>・表現の美しさを理解して技法を活用し創意工夫する。</p> <p>・生活と美術のかかわりに関心を持ち、積極的に働きかけようとする。</p> <p>・構造を理解し、全体と部分のバランスを考えてデフォルメし、線に起こすことができたか。</p>				
	8月						

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
	9月	染色実習 トートバック	○自然物をデザインのテーマとし、モチーフに関心を持ち、自分なりの主題を持つ。 ・生活と工芸のかかわりに関心を持ち、造形的に働きかけようとする。	
後 期	10	音楽祭のポスター	○文字をグラフィックの重要な要素と捉え、ロゴ、フォント、サイズ、レイアウトをイラストレーションと同時に計画する。 ○音のイメージから発想することを現象や言語に表わし、視覚的に音楽を伝えるイラストレーションを描く	資料収集 エスキース 作品全体講評 作品提出 B1 サイズ
	11		・音から発想出来る様々なことに思いを広げることができたか。 ・自分のテーマをもとにモチーフの特徴を生かした構成や表現を工夫出来たか ・用具を使って美しい彩色をする。	
	12	味覚のデザイン	○辛い、甘い、酸っぱい、苦い、渋い、などの味覚は冷たい、温かい、軟らかい、硬いなどの触感を伴う。味覚には文化、行事、祝事、民族性、等が反映され装飾的な視覚を通してイメージを伴い、楽しい、うれしい、食べたいなどの感情に作用する。 味と言う形のないものに視覚的イメージを加え、人の気持ちを動かすデザインに展開する。	資料収集 エスキース 作品全体講評 作品提出 B1 サイズ
	1		○全体のイメージを持ちながらメイングラフィックと背景のモチーフを選択をする。背景との関連性が味覚をどう伝えるかを決定つけることを意識する。触感、民族性、行事、メイキングなど伝えるべき内容の展開方法に見せ場を演出する。同時に表現方法も計画する。	
	2		○色相差、明度差、彩度差のコントロールによって、「色、つや」を演出しみずみずしく味覚に訴える色彩を考える ○平塗、にじみ、ぼかし、グラデーション、下地効果を考慮し、絵の具の厚みと重なりを理解して描写する。	
	3			